



オーチャードグラス「はるねみどり」

登録品種；海外持出禁止（公示（農水省HP）参照）

- ・早生品種で出穂始めは「ワセミドリ」より約1日遅く、越冬生は優れる。
- ・春、秋の収量性は「ワセミドリ」より優れ、採草利用を中心に放牧利用もできる。
- ・栽培適地は、北海道全域と東北北部。

育成：北海道農業研究センター



オーチャードグラス「ハルジマン」

登録品種；海外持出禁止（公示（農水省HP）参照）

- ・中生品種で出穂始めは「オカミドリ」並。
- ・一番草収量は「オカミドリ」より多収です。葉枯病抵抗性は「オカミドリ」より優れる。
- ・マメ科牧草との混播で良好なマメ科率を維持、採草利用を中心に放牧利用もできる。
- ・栽培適地は、北海道全域と東北北部。

育成：北海道農業研究センター



オーチャードグラス「トヨミドリ」

- ・極晩生品種で出穂始めは「ワセミドリ」より約2週間、「オカミドリ」より約8日遅い。
- ・採草利用を中心に放牧利用もできる。
- ・越冬生は「オカミドリ」より優れ、すじ葉枯病抵抗性は「オカミドリ」より優れる。
- ・栽培適地は、北海道全域と東北北部。

育成：北海道農業試験場



↓まきばさかえ ↓既存品種



メドウフェスク「まきばさかえ」

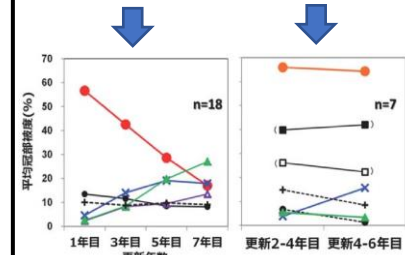
登録品種；海外持出禁止（公示（農水省HP）参照）

- ・早生品種で土壌凍結地帯の集約放牧に適した草種。
- ・積雪下で発生する雪腐病抵抗性の強化により、越冬性が「ハルサカエ」より優れる。
- ・集約放牧を想定した短草・多刈り取りの乾物収量は「ハルサカエ」を上回る。

育成：北海道農業研究センター・根創農業試験場

雑草に負けない草地を作るために…
オーチャードグラスやペレニアルライグラスなどの競合力の強い草種を活用する方法もあります。

オーチャードグラス (OG)
チモシー (TY) + ペレニアルライグラス (PR)
冠部被度が年々減少
4~6年後も冠部被度を維持!



● TY ● OG+PR (■OG) (□PR)
● マメ科草 + 広葉雑草 ▲ その他イネ科草
× RCG (リードカナリーグラス)

図3 チモシー (TY) 主体草地およびオーチャードグラス (OG) + ペレニアルライグラス (PR) 主体草地における更新後の冠部被度 (天北支場、ホクレン 2012)



ペレニアルライグラス「道東1号」

登録品種；海外持出禁止（公示（農水省HP）参照）

- ・極晩生品種で茎数密度が高く、放牧に向く。
- ・雪腐大粒菌核病に抵抗性がある。
- ・再生力、追播適性、嗜好性に優れる。
- ・メドウフェスクよりも、秋季の生育に優れる。
- ・土壌凍結地帯では、冬枯れる場合がまれにあるので、単播は避ける。

育成：(一社)日本草地畜産種子協会



ペレニアルライグラス「チニタ」

登録品種；海外持出禁止（公示（農水省HP）参照）

- ・中生品種で出穂が最も早い。
- ・採草・放牧兼用利用時の1番草が多収。
- ・再生力が強く、季節生産性に優れる。
- ・北海道の北部、中央部及び南部に適應する。土壌凍結地帯での栽培は避ける。
- ・越冬性は実用上問題はないがやや劣る。

育成：上川農業試験場天北支場



ペレニアルライグラス「ポコロ」

- ・晩生品種で越冬性、永続性、収量性に優れ、春の萌芽が早く、春の生産性が良好。
- ・シロクローバとの相性も良く、集約放牧利用では9~10月は再生草量の低下が見られる。
- ・北海道の北部、中央部及び南部に適應する。土壌凍結地帯での栽培は避ける。

育成：天北農業試験場



アルファルファ「ハルワカバ」

登録品種；海外持出禁止（公示（農水省HP）参照）

- ・早生品種。越冬性にも優れ、アルファルファの栽培が難しいとされている地域での栽培も適する。
- ・そばかす病、パーティシリウム萎凋病に対して抵抗性品種。
- ・栽培適地は、北海道全域。

育成：北海道農業研究センター

《雑草による経済的ダメージ》

《リードカナリーグラス》

チモシーよりも乾物摂取量が少なく、産乳量も少なくなってしまう。

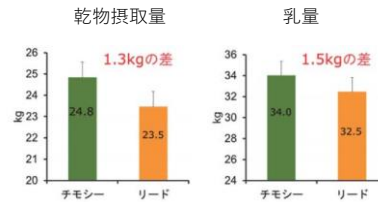


図1 チモシーおよびリードカナリーグラスの乾物摂取量と乳量 (ホクレン、2012)

《シバムギ》

チモシーよりも品質が劣るうえ、乾物収量でも8割程度と少なくなります。

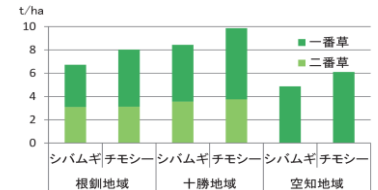


図2 同一圃場内で同時に刈った乾物収量の比較 (根創農試・ホクレン、雪印種苗2015)